



## 2026年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年5月15日

上場会社名 株式会社アミファ 上場取引所 東  
 コード番号 7800 URL <https://www.amifa.co.jp>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 藤井愉三  
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員経営企画室長（氏名） 堀内 亨 (TEL) 03 (6432) 9500  
 兼経理部長  
 半期報告書提出予定日 2026年5月15日 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年9月期第2四半期（中間期）の業績（2025年10月1日～2026年3月31日）

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期中間期	5,326	3.7	631	168.4	617	192.3	406	264.6
2025年9月期中間期	5,138	4.2	235	185.2	211	198.5	111	128.4
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年9月期中間期	131.55		—					
2025年9月期中間期	36.98		—					

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期中間期	3,923	2,512	64.0
2025年9月期	3,671	2,141	58.3

(参考) 自己資本 2026年9月期中間期 2,512百万円 2025年9月期 2,141百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	26.00	26.00
2026年9月期	—	0.00	—	—	—
2026年9月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2026年9月期の業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	1.8	620	129.4	600	150.8	680	249.6	215.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 中間財務諸表及び主な注記 (4) 中間財務諸表に関する注記事項 (中間財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年9月期中間期	3,235,000株	2025年9月期	3,235,000株
-------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2026年9月期中間期	16,439株	2025年9月期	216,439株
-------------	---------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年9月期中間期	3,093,286株	2025年9月期中間期	3,018,561株
-------------	------------	-------------	------------

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間期決算に関する定性的情報 (4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(中間財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	7
(セグメント情報等の注記)	7

## 1. 当中間期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間（自 2025年10月1日 至 2026年3月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策により、景気は緩やかな回復基調がみられていましたが、インフレや円安の継続による消費者物価上昇の継続による影響は大きく、また米国の通商政策の影響や中東情勢の緊迫化によるエネルギー価格の高騰など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

こうした環境下、当社は、クリスマス、バレンタインなどのイベントをはじめ、新企画や新商品の提案に積極的に取り組み、主要顧客である均一価格ショップ各社に向けてライフスタイル商品の販売に注力し、売上高は前年同期を上回る実績を確保しました。一方、損益につきましては、円安環境が継続する中でも売場提案力の強化や売れ筋商品の集中などによる販売と継続した原価低減、また、販売費及び一般管理費の削減により、前年同期より大きく改善し大幅な増益となりました。

以上の結果、当中間会計期間の経営成績の概要は以下の通りであります。

(千円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
当中間会計期間	5,326,769	631,496	617,901	406,919
前中間会計期間	5,138,028	235,264	211,413	111,621
増減額	188,741	396,232	406,487	295,298
増減率(%)	3.7	168.4	192.3	264.6

売上高は、前年同期比188,741千円増(3.7%増)の5,326,769千円となりました。

これは、クリスマス、バレンタインなどのイベント関連商品の販売が堅調に推移したことや、シール類を中心とした文具類の販売が好調に推移したことによるものです。

なお、当中間会計期間における当社のライフスタイル商品の商品群別累計売上高は、下表の通り、「NB商品」が4,158,684千円(前年同期比12.4%増)、「PB商品」が1,168,085千円(前年同期比18.8%減)となりました。当事業年度より、中期経営計画に掲げる「ブランド価値に基づく差別化・収益力強化」に沿った数値を開示しております。これに合わせ、前年同期も上記に沿った数値を開示しております。

- ・NB（ナショナルブランド）：当社独自のブランド名（主に「amifa®」）で販売。
- ・PB（プライベートブランド）：得意先のブランド名で販売。企画と製造、もしくは製造のみを当社が担う。

(千円)

	NB商品	PB商品	合計
当中間会計期間	4,158,684	1,168,085	5,326,769
前中間会計期間	3,699,034	1,438,993	5,138,028
増減額	459,649	△270,908	188,741
増減率(%)	12.4	△18.8	3.7

円安環境が継続する中でも売場提案力の強化や売れ筋商品の集中などによる販売と継続した原価低減、前年同期に計上した商品在庫の評価損が当中間会計期間は大幅に減少したこと等により、売上原価率は5.7ポイント改善したことに加えて、販売費及び一般管理費の削減により、営業利益は大幅に改善しました。以上の結果、営業利益は、前年同期比396,232千円増(168.4%増)の631,496千円となりました。

経常利益は、前年同期比406,487千円増(192.3%増)の617,901千円となりました。

営業外収支は、前中間会計期間に為替差損20,203千円を計上しましたが、当中間会計期間は為替差損10,132千円と減少したことにより、経常利益の増益幅は増加しました。

当中間会計期間に本社移転費用32,784千円を特別損失に計上しました。

以上の結果、中間純利益は、前年同期比295,298千円増(264.6%増)の406,919千円となりました。

なお、当社の事業は、ライフスタイル商品事業の単一セグメントであるため、セグメントの記載をしておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当中間会計期間末における流動資産は3,594,982千円となり、前事業年度末に比べ136,698千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が529,979千円増加した一方、受取手形及び売掛金が10,038千円減少、棚卸資産が452,287千円減少したことによるものです。固定資産は328,669千円となり、前事業年度末に比べ115,914千円増加いたしました。これは主に有形固定資産が42,196千円増加、投資その他の資産が81,610千円増加したことによるものです。

この結果、総資産は、3,923,652千円となり、前事業年度末に比べ252,613千円増加いたしました。

## (負債)

当中間会計期間末における流動負債は1,000,283千円となり、前事業年度末に比べ35,975千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が89,623千円増加、未払金が17,805千円増加、その他流動負債が8,703千円増加した一方、買掛金が36,379千円減少、短期借入金が100,000千円減少したことによるものです。固定負債は411,269千円となり、前事業年度末に比べ82,097千円減少いたしました。

この結果、負債合計は、1,411,552千円となり、前事業年度末に比べ118,073千円減少いたしました。

## (純資産)

当中間会計期間末における純資産合計は2,512,099千円となり、前事業年度末に比べ370,686千円増加いたしました。これは主に中間純利益406,919千円がありましたが、配当金支払78,482千円により利益剰余金が328,436千円増加、繰延ヘッジ損益が42,049千円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前事業年度末に比べて5.7ポイント増加し、64.0%となりました。

## (3) キャッシュ・フローに関する説明

当中間会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は、前事業年度末に比べ529,979千円増加し、1,372,192千円となりました。当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下の通りです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動で獲得した資金は、929,534千円（前年同期は801,155千円の収入）となりました。これは主に、仕入債務が36,379千円減少、未払金が16,654千円減少、法人税等の支払額が88,574千円となりましたが、税引前中間純利益585,117千円、棚卸資産の減少452,287千円、売上債権が18,389千円減少等により前年同期に比較し改善しました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は、121,650千円（前年同期は17,399千円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出22,021千円、無形固定資産の取得による支出1,100千円、敷金の差入による支出98,528千円によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は、278,032千円（前年同期は372,140千円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の返済による支出100,000千円、長期借入金の返済による支出99,799千円、配当金の支払額78,432千円によるものです。

## (4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の通期業績予想及び配当予想につきましては、当中間会計期間の実績を踏まえ、2025年11月14日に公表しました通期業績予想及び配当予想の修正をいたしました。詳細につきましては、本日公表いたしました「2026年9月期通期業績予想の修正、2026年9月期配当予想の修正に関するお知らせ」を御覧ください。

## 2. 中間財務諸表及び主な注記

## (1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年9月30日)	当中間会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	842,213	1,372,192
受取手形及び売掛金	808,703	798,665
電子記録債権	9,707	1,357
棚卸資産	1,725,787	1,273,499
その他	71,872	149,268
流動資産合計	3,458,284	3,594,982
固定資産		
有形固定資産	25,971	68,168
無形固定資産	55,276	47,383
投資その他の資産	131,507	213,118
固定資産合計	212,754	328,669
資産合計	3,671,039	3,923,652
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	166,509	130,129
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	199,599	184,199
未払金	422,731	440,537
未払法人税等	88,488	178,112
賞与引当金	19,425	19,095
その他	39,505	48,208
流動負債合計	1,036,259	1,000,283
固定負債		
長期借入金	201,066	116,666
退職給付引当金	37,965	40,267
役員長期未払金	254,335	254,335
固定負債合計	493,367	411,269
負債合計	1,529,626	1,411,552
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	37,220	37,220
資本剰余金	273,586	142,786
利益剰余金	1,957,764	2,286,201
自己株式	△141,766	△10,766
株主資本合計	2,126,804	2,455,441
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	14,608	56,657
評価・換算差額等合計	14,608	56,657
純資産合計	2,141,412	2,512,099
負債純資産合計	3,671,039	3,923,652

## （2）中間損益計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自 2024年10月1日 至 2025年3月31日）	当中間会計期間 （自 2025年10月1日 至 2026年3月31日）
売上高	5,138,028	5,326,769
売上原価	3,497,896	3,325,240
売上総利益	1,640,131	2,001,528
販売費及び一般管理費	1,404,866	1,370,031
営業利益	235,264	631,496
営業外収益		
受取利息	173	576
受取補償金	—	891
還付加算金	166	—
受取ロイヤリティー	1,200	—
その他	146	180
営業外収益合計	1,687	1,648
営業外費用		
支払利息	4,106	4,214
為替差損	20,203	10,132
固定資産除却損	0	—
その他	1,228	896
営業外費用合計	25,538	15,243
経常利益	211,413	617,901
特別損失		
本社移転費用	—	32,784
特別損失合計	—	32,784
税引前中間純利益	211,413	585,117
法人税等	99,792	178,198
中間純利益	111,621	406,919

## （3）中間キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自 2024年10月1日 至 2025年3月31日）	当中間会計期間 （自 2025年10月1日 至 2026年3月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	211,413	585,117
減価償却費	17,117	23,228
賞与引当金の増減額（△は減少）	292	△329
退職給付引当金の増減額（△は減少）	3,570	2,302
受取利息及び受取配当金	△173	△576
支払利息	4,106	4,214
為替差損益（△は益）	4,950	△128
受取補償金	—	△891
固定資産除却損	0	—
本社移転費用	—	32,784
売上債権の増減額（△は増加）	△74,608	18,389
棚卸資産の増減額（△は増加）	745,419	452,287
仕入債務の増減額（△は減少）	△94,349	△36,379
未払金の増減額（△は減少）	△45,836	△16,654
その他	6,113	△10,136
小計	778,016	1,053,227
利息及び配当金の受取額	173	576
利息の支払額	△4,106	△4,214
本社移転費用の支払額	—	△32,372
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	27,071	△88,574
補償金の受取額	—	891
営業活動によるキャッシュ・フロー	801,155	929,534
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,952	△22,021
無形固定資産の取得による支出	△11,436	△1,100
敷金及び保証金の差入による支出	—	△98,528
その他の支出	△10	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,399	△121,650
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△300,000	△100,000
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△99,799	△99,799
配当金の支払額	△72,340	△78,432
自己株式の処分による収入	—	200
財務活動によるキャッシュ・フロー	△372,140	△278,032
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,950	128
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	406,665	529,979
現金及び現金同等物の期首残高	719,071	842,213
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,125,736	1,372,192

（4）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

2025年11月14日取締役会決議及び2025年12月25日開催の第55期定時株主総会の承認に基づき、2026年1月23日付けで公益財団法人アミファ・デザイン・アート振興財団に対する第三者割当による自己株式200,000株の処分を実施いたしました。これにより、当中間会計期間において自己株式が131,000千円の減少となり、資本剰余金が130,800千円減少しております。

（中間財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前中間純利益に見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社は、ライフスタイル商品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。